

【技術の名称】 タカミヤ式座屈拘束ブレース ーオクトブレースー（改定1）	性能証明番号：GBRC 性能証明 第16-34号 改1 性能証明発効日：2021年11月15日
	【取得者】 株式会社タカミヤ 株式会社小堀鐸二研究所

【技術の概要】

本技術は、ブレース材として働く芯材をアルミニウム製の閉鎖型断面で拘束し、座屈させずに安定的に塑性化する座屈拘束ブレースに関する技術である。2枚の鋼板に挟み板を隅肉溶接して組み立てた芯材を座屈拘束材に挿入し、芯材と座屈拘束材の隙間にセメント系無収縮グラウト材を充填して拘束する。芯材の周りにクリアランス材を設け、拘束材には軸力が伝達されない機構とすることで、本ブレースは引張軸力時、圧縮軸力時とも安定した履歴特性を有し、圧縮軸力下においても引張軸力時と同等の剛性、耐力を発揮できる。

【改定の内容】

新規：GBRC 性能証明 第16-34号(2017年3月27日)

改定1：GBRC 性能証明 第16-34号 改1(2021年11月15日)

- ・座屈拘束材の初期不整管理精度を変更
- ・耐震タイプの限界製品長さを設定
- ・低軸力タイプ（2）を追加
- ・接合部ボルトに溶融亜鉛めっき高力六角ボルト（12GSHTB）を追加
- ・申込者名、技術名称を変更

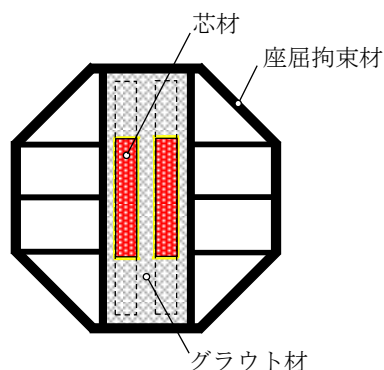


図1. 塑性化部断面図

【技術開発の趣旨】

本技術は、メンテナンスフリー、軽量で、施工性が良く、コストパフォーマンスに優れた座屈拘束ブレースとして開発されたものである。座屈拘束材の種類と芯材の板厚、取り付け部の組み合わせを定め、シンプルなガセットプレート接合としている。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「タカミヤ式座屈拘束ブレース 設計・製作・施工指針」に従って設計・製作・施工された座屈拘束ブレースは、以下の性能を有する。

- (1) 圧縮軸力下で引張軸力時と同等の降伏軸力を有する。
- (2) 圧縮、引張の繰返し軸力に対し、安定した復元力特性を有する。
- (3) 骨組の変形に追従できる十分な変形性能を有する。

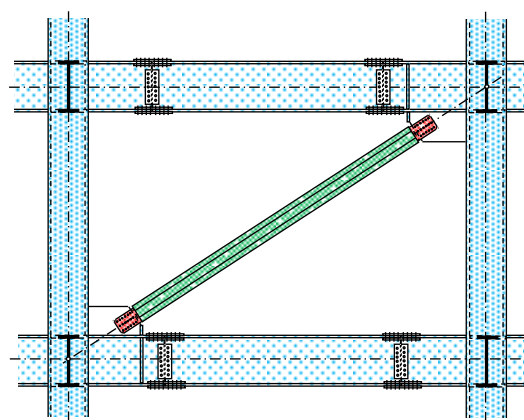


図2. 本ブレースの組み込み方法(例)

【本技術の問合せ先】

株式会社タカミヤ 担当者：早川 翼
〒376-0121 群馬県桐生市新里町新川 3327

E-mail：hayakawa@takamiya.co
TEL：0277-70-2000 FAX：0277-70-2110